

入学式式辞

春爛漫、生命の息吹きなぎる希望の季節を迎え、村上市教育委員会大滝豊様、村上市長高橋邦芳様、市議会議員の皆様をはじめ、多くの御来賓の皆様、そして、保護者の皆様の御臨席のもとに、令和五年度、村上市立村上第一中学校の入学式を挙行できますことは、この上ない喜びです。御臨席の皆様、心から御礼を申し上げます。

八十一名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。校地やグラウンドの満開の桜が皆さんを迎えたように、村上第一中学校は、全校生徒、全教職員で皆さんの入学を、心より歓迎いたします。

今日から皆さんは「一中生」と呼ばれます。村上第一中学校は、その名の通り、地域に誇れる、歴史のある伝統校です。令和五年度の今年、創立五十四年目を迎えます。皆さんの後ろに座っている先輩達を始め、これまでの多くの卒業生が代々引き継いできた伝統を土台としながらも、生徒が中心となってこれまでの活動を見直し、現状維持をよしとせず、更なる高みを目指して改善を続けてきたおかげです。勉強はもちろん、学校行事や生徒会活動、部活動などに全力で取り組む姿はおおいにあなた方の見本となることでしょう。先輩たちの姿から、しっかりと学び、名実ともに、自信と誇りをもった真の「一中生」になってくれるものと期待しています。

さて、入学にあたり、皆さんに私が一番伝えたいことは、「まず、一步を踏み出して、自分なりの挑戦をしてみよう」ということです。そして、小学校の時と違う新しい自分を探してほしいということです。

村上第一中学校には目指す生徒の姿が三つあります。まず一つ目は、「向上心を持って、挑み続ける生徒」です。二つ目が、「自分で考え、行動する生徒」、三つ目は、「他者を尊重し、協力し合う生徒」です。

これらの姿になるためには、それぞれにそのための方法があります。その方法とは、あまり慎重になりすぎずに、「まず、始める」ことです。中学校は教科担任制で、毎時間先生が変わります。生徒が中心となって活動する生徒会活動もあります。今後三年間で地域の活動に移行しますが、部活動もあります。そして、そこには新しい出会いもあるはずで、新しいことだらけですので当然分からないことだらけです。「分からないので教えてください。」と声を出して思い切って飛び込んでみましょう。分かるようになる気持ちや向上心は自分自身のエネルギーとなります。最近の中学生はやってみる前から、無理、できないなどとあきらめてしまう傾向があるのではないかと思います。「まず、始めて」みてください。

次に、自分で決めて、とことんやり抜く、強い自分を見つけましょう。もうすでに見つけている人はよいのですが、まだ見つけていない人は、必ず自分の中にいるので、見つけてあげてください。強い自分は最初はすごく弱いです。毎日、毎日、ほめて励ましてあげる必要があります。そのためには、習慣化が必要で、初めは無理のない範囲で、毎日同じ時間に、同じ場所で、同じ行動や分量をやるのです。それには土曜日や日曜日のような休みはありません。そうやっているうちに、強く揺るがない自分が前面にでてくるようになります。それが強い自分です。

最後に自分を理解して、自分の良さや弱さを知ることです。また、相手を思いやる心は、他者の良さや弱さを理解し、自分を大切にすることと同様に他を大切に思うことから育まれます。より良い人間関係づくりの能力を身に付けた人は、自ずと成長し、すべてを自分事と考えるようになり、自分の判断と責任で行動できるようになると考えています。

まず挑戦し、自分で決めてやり抜き、他に思いやりの心を持ちながら、自分なりの信念を持って行動できる人になってほしいのです。そのような中学時代を過ごした人は、自ら幸せになるだけでなく、周りの人にも優しくできる大人になると私は確信しています。

結びに、皆さんが、今日から始まる中学校生活を自らの行動で、明るく希望に満ちた、充実した日々とされんことを心から祈り、式辞といたします。

令和5年4月7日

村上市立村上第一中学校長 鈴木 健史